

# 転入学ご希望の皆様へ



タンザニア日本人会立 ダルエスサラーム日本語補習校  
(文部科学省呼称:ダルエスサラーム補習授業校)

“Dar es Salaam Japanese Language School (Class)”

開校:昭和47(1972)年1月1日 ※ 創立49年

# ＜本校の特徴1＞

☆設置者 タンザニア日本人会 ※当初2年間は“日本国大使館立”

☆運営主体 ダルエスサラム日本語補習校運営委員会

☆借用校舎 ISTのご厚意により、無償でお借りしています。

→在外教育施設の中で、極めてまれ

※ 運用経費は学校予算で支払っています。

## ☆指導体制

・当初は保護者が交代で、後に青年海外協力隊員の協力も得ながら。

※ 毎週土曜日、国語のみ、30分授業を2コマ

・創立8年目(1980.4) 文部省(当時)より教諭初派遣

・創立38年目(2010.1) 文部科学省より校長初派遣 ※現在5代目

## ＜本校の特徴2＞

世界に4校だけの“準全日制補習授業校”

本校と、チェンナイ(インド)、グアダハラ(メキシコ)、オマーン

☆日本人学校 95校(H31. 4時点) 文科省が校長・教頭・教員を派遣。

- ・日本国内の小学校、中学校における教育と同等の教育を行うことを目的とする  
全日制的教育施設。

☆補習授業校 228校(同上) 在籍100人以上の大規模校に校長(教頭)を派遣。

- ・現地校に通学する児童生徒が、再び日本国内の学校に編入した際に、スムーズに適応できるよう、基幹教科の基礎的・基本的知識・技能及び日本の学校文化を、日本語によって学習する教育施設。

## ☆準全日制補習授業校

「現地校に通学する児童生徒が、再び日本国内の学校に編入した際に、スムーズに適応できるよう、基幹教科の基礎的基本的知識・技能及び日本の学校文化を、日本語によって学習する教育施設。」

という補習授業校の側面をもち、さらに、

「現地の教育制度等が十分に整備しているとはいえないため、日本人学校に準じた教育を行っている教育施設」

※ 補習授業校の派遣校長は、基幹的要員として派遣され、準全日制補習授業校の校長は、それに加え、児童生徒の教育をつかさどる。

・本校の教師陣は、派遣校長を含め3人。

☆ 参考:【補習授業校の意義】 (文部科学省HPより)

「補習授業校プラス現地校・インターナショナルスクールという就学形態を経て帰国した児童生徒を対象とした追跡調査によると、帰国後スムーズに適応する条件として以下の3点が挙げられる。

1. 補習授業校の勉強をしっかりとやること。
2. 家庭内では日本語を使うこと。
3. 日本語の本を読むこと。



【補習授業校の特徴】

＜目的＞ 再び日本の学校で勉強するための学習と、生活の基礎基本を身につける。

＜方法＞ 1. 全員の積極的な参加で授業が成り立つこと。  
2. 家庭学習と教室学習とが総合されて学習目標が達成されること。

# I. 本校の教育方針

1. 学年相当の基礎学力と、国際的な視野を持った日本人を育成するための、初等中等教育の補習教育を行う。
2. かけがえのない生命と安全を守り、その能力と個性を可能なまでに伸ばし、生涯を通しての成長・発展の基礎作りを行う。
3. 日本に帰国したときに、学校生活や社会生活に適應できる能力の育成を図る。

## <基本となる考え方>

# 【個に応じた授業の工夫と創意ある学校運営】

そのために、

### ①「人間形成の場としての教育」

－ 豊かな心を持ち、たくましく生きる人間の育成を図る －

### ②「基礎・基本の重視と個性を生かす教育」

－ 日本人として必要な基礎的・基本的な内容を重視し、個性を生かす教育の充実を図る －

### ③「自己教育力の育成」

－ 自ら学ぶ意欲と、社会の変化に主体的に対応できる能力の育成を図る －

### ④「国際社会に生きる日本人の育成」

－ 国際理解を深め、日本とタンザニア及び他国の文化と伝統を尊重する態度の育成を図る。－

## <教育目標>

- ①「自ら進んで取り組む児童生徒の育成」
- ②「思いやりの心を持ち、だれとも  
なかよく活動できる児童生徒の育成」
- ③「心身ともに健康な児童生徒の育成」



## Ⅱ. 学校概要

1. 授業 毎週月曜から金曜 年間182日前後

※「年間予定表」は、新年度初日または転入の日にお渡しします。

2. 登下校・送迎についてのお願い

(1) 開始時刻(前半は3時10分、後半は4時35分)までに、子どもさんが校舎に到着するよう、送ってきてください。

(2) その前の登校は安全管理ができないため、ご遠慮ください。

※ 安全確保をしていただく人がいればその限りではありませんが、各ご家庭の責任でお願いします。運営委員会・学校は一切責任は持てません。

(3) 活動終了後(前半は短学活終了4:45の後、後半は授業終了6:10の後)、遅れずにお迎えをお願いします。

### 3. 授業時間

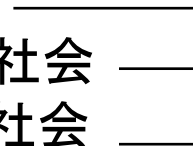
＜前半部の学年＞	1時間目	3:10～3:50
	2時間目	3:55～4:35
	短学活	4:35～4:45
	下校	4:45～

＜後半部の学年＞	短学活	4:35～4:45
	1時間目	4:45～5:25
	2時間目	5:30～6:10
	下校	6:10～

- ※ 朝から通学する学校のスケジュールや、発達段階を考慮して、基本的に、**低学年が前半部**、**高学年・中学部が後半部**となります。
- ※ 教科担任制です。学期や転出入等により、時間割や担当を変更することがあります。学年が増えたときは“複式授業”を行います。

## 4. 指導教科

小学1・2年…… 国語・算数・生活  
小学3～6年…… 国語・算数・理科・社会  
中学全学年…… 国語・数学・理科・社会



を中心に週10時間実施

※ 音楽・図画工作(美術)・技術家庭・保健体育の各教科は、行事や短学活等の時間で実施します。

## 5. 短学活 前半部と後半部の間の10分間

- ・必要に応じて、児童生徒交流の時間や、日記、読書タイム、集会、清掃等の活動を行います。

## 6. 定期テスト

- ・全学年で、1学期1回、2学期2回、3学期1回の定期テストを実施します。

## 7. 入学金・授業料(概略)

(1) 入学金    \$200 ※ 2人目からは、\$150

(2) 授業料    小・中学部とも、\$180/月 × 3か月分 × 人数  
年4回(4月・8月・10月・1月)に分けてお支払いいただきます。

- ① 授業料は通学日数にかかわらず、月単位でお支払いいただきます。
- ② 学校の指定銀行口座(請求書に記載しています)への振り込み、または現金にてお支払いください。
- ③ 現金でお支払いいただく際は、10ドル以上の紙幣をお願いします。
- ④ 年度途中で退学される場合、授業料は登校しない月単位でお返しします。
- ⑤ 退学される場合は、速やかに校長までご連絡ください。
- ⑥ 事前に届け出がない場合、授業料は返金できませんのでご注意ください。

・月額 \$ 180は、年額の授業料を12で割って算出しています。

※ 一時帰国や休暇等での欠席は在学扱いとなり、授業料はお支払いいただきます。

☆ 授業料は主に、

- ・児童生徒にお渡しする副教材やドリル・テスト等の購入費・送料、
- ・教師が使用する指導書や教材・副教材等の購入費・送料、
- ・学校運営・維持管理費

等に充当しています。

※ 講師給与は、その90%前後を、「現地採用教師・講師謝金補助事業」として、日本政府よりいただいています。

## 8. 学校からの情報 ※ 必ずご確認ください。

- ① 「学校要覧」 ※ 入学式の日にお渡しします。
- ② 学校だより「バオバブ」 ※ 校長が発行します。
- ③ ネットによる連絡（Eメール・LINE・WhatsApp等）  
※ 運営委員長・保護者代表・校長・講師からの連絡

さまざまな情報や、変更のお知らせ等を上記3つで行います。緊急のお知らせもあります。必ずご確認ください。

ご不明な点がございましたら、校長または運営委員長にお知らせください。

# Ⅲ. 転入学に向けての準備等



## 1. 入学式の日在学校でご用意するもの

- ① 教科書一式 … 政府より無償配布されます。
- ② 副教材 … 日本から取り寄せます。
- ③ (小学1年生のみ) 国語・算数のノート各1冊 (入学祝いとして)  
※ 教科書等を入れる手下げ袋などをご用意ください。

## 2. 毎日の持ち物・服装など

- ① 教科書、ノート、“スキル”等副教材、筆記用具
- ② 服装 学習時にふさわしいものであれば自由です。
- ③ 上履き 学習機の脚にはさむと大変危険です。必ず上履きに履き替えていただきます。サンダル等でもかまいません。学習後、教室前の靴箱に入れて帰ります。(職員室にて保管します。)
- ④ 水筒 飲料水が十分入った水筒を、毎日忘れずに持たせてください。
- ⑤ 汗ふき・ティッシュペーパーなど

### 3. 教科書・ノート・文房具等

#### (1) 教科書

##### ① 4月入学・転入の場合

- ・基本的には学校でご用意しますが、ご連絡の時期によりご用意できないことがあります。ご相談ください。

##### ② 年度途中の転入の場合

- ・日本を出発される前に、「海外子女教育財団」からお受け取りいただき、お持ちください。詳しくは、同財団のホームページをご覧ください。

“海外子女教育振興財団 教科書”で検索してください。



## (2) ノート

※ 出発前や一時帰国時にご購入ください。下表は「日本での購入のめやす」としてご参考にしてください。  
例として、日本で手に入りやすいメーカーのものを載せていますが、他社製のものでかまいません。また、マス数・行数ともこれに近いものであればけっこうです。

※ 転入前の学校でお使いのノートがありましたら、そのノートから先にお使いください。

※ 現在ご用意できない場合は、代用品としてダルエスサラームで購入できるものをご用意ください。また、学校に少し在庫がありますので、お持ちでないときはご相談ください。

### <国語>

1年生……………B5判10マス×7行	参考：ジャポニカ学習帳	JL-8 こくご
2・3年生……………B5判12マス×8行程度	参考：ジャポニカ学習帳	JL-9 こくご
4年生……………B5判15マス×10行程度	参考：ジャポニカ学習帳	JL-10 こくご
5・6年生……………B5判15行程度	参考：ジャポニカ学習帳	JL-13-1 国語

※ **漢字指導**は主に副教材を使いますが、練習のため学年に応じた漢字ノートをご用意ください。

### <算数>

1年生……………B5判7マス×12行	参考：ジャポニカ学習帳	JL-1-2 さんすう
2・3年生……………B5判14マス×10行程度	参考：ジャポニカ学習帳	JL-2-1 さんすう
4年生……………B5判17マス×12行程度	参考：ジャポニカ学習帳	JL-2 さんすう
5・6年生……………B5判27行程度	参考：ジャポニカ学習帳	JL-7 算数

◎ **社会・理科、中学生用のノート**は、大学ノートのような罫線があるものでけっこうです。

## (3) その他学用品等

### ☆小学生

＜バッグ＞ デザインやサイズなど自由で、こちらで購入できるもので十分です。ランドセルもOKです。

※朝からの学校用とは別のものをご用意ください。

＜筆箱＞ こちらで購入できるもので十分です。 ※ 日本国内で子どもたちが使うような筆箱はこちらでは入手しにくいので、お好みのものがあればお持ちいただいてもいいでしょう。

＜鉛筆＞ 主に使うのは、HB・B・2Bの鉛筆と赤鉛筆です。こちらで購入できるもので十分です。品質にこだわる場合は、可能な範囲で日本からお持ちいただいてもかまいません。 ※ なお本校では、発達段階の観点から、小学生のシャープペンシル使用はお断りしています。

＜消しゴム＞ こちらでも購入できますが、品質は日本製のプラスチック消しゴムがベストだと思います。

＜色鉛筆、クレヨン、のり＞ こちらのスーパー等で購入できるもので十分です。

＜はさみ＞ スーパー等で購入できますが、左利き用をお使いの場合は日本からお持ちください。

<定規> 15か20cmくらいのもものと、30cmのものがあるといいでしょう。日本でお使いのものをお持ちいただいてもけっこうですが、こちらのスーパー等で普通に購入できるもので十分です。

<三角定規> こちらでも購入できます。①30・60・90度の直角三角形と、②45度の直角二等辺三角形をご用意ください。

<分度器・コンパス> こちらでも購入できますが、日本で買えるもののほうが使いやすいです。

<習字道具・半紙> 1月の書き初め大会で使用します。道具は学校でご用意しますが、半紙(普通サイズのもの)をお持ちいただきますと助かります。 ※ 絵具等が入った「図工道具」は補習校では使いません。

<国語辞典・漢字辞典> 補習校での学習は基本的に備品の辞書を使用しますが、宿題等家庭学習用として学年に応じたものをご用意ください。

## ☆中学生

※基本的には、「小学生」用を参考にしてください。それ以外に…、

<電子辞書> 国際学校等の学習でも必要ですので、お持ちになることをお勧めします。

※ご不明な点がございましたら、お気軽に校長までご連絡ください。

## IV. アクセス

- ☆ 所在地 Plot. 692 Haile Selassie Rd. Dar es salaam  
IST(International School of Tanganyika)内
- ☆ 郵送先 c/o Embassy of Japan in Tanzania  
P.O.BOX 2577 Dar es Salaam, Tanzania
- ☆ ホームページ <http://dsmjlc.jimbo.com/>
- ☆ Eメール [dsmjlc@yahoo.co.jp](mailto:dsmjlc@yahoo.co.jp) (校長が対応します)
- ☆ 電話 国番号 255-22-2600441

※まずは、Eメールにてご連絡ください。

**職員一同と在校生が、  
お子さまのご入学・転入を  
心よりお待ちしております！**

